

子育て情報

# ままちっち

mamachicchi

あべの・ひがしすみよしエリア

20周年  
記念号

創刊20周年記念特集

## ままちっちのこれまで+これから

ままちっちのはじまり&大事にしていること

ままちっちのあゆみ

過去記事★ピックアップ

ままちっちの現在地

みんなのメッセージ

ままちっちのこれから

表紙コレクション



ままちっちが運営するポータルサイトや  
LINE、イベントカレンダーなどはこちらから



2012

11月 あべの子育てガイドVIを編集・発行



2014

7月 「子育て情報ままちっち」50号発行。ままちっちFESTA開催。

8月 マンションサイトからの依頼で「あべのちっち」開設。初の?案件

9月 **配布エリアを東住吉区にも拡大**  
東住吉区でも編集会議スタート。部数は6,000部に。

2015

6月 月に2回みなくろハウスでイベントを開催  
みなくろままちっちDAYをスタート

8月 ままちっちWeb (URL mamachicchi.com) を開設。イベントカレンダーなどを新設

2016

5月 大阪商工信用金庫 地域貢献賞「さくら賞」受賞



10月 地域の子育てポータルサイト「codomoto.jp」開設

2017

7月 **法人格を取得し「一般社団法人codomotoままちっち」へ**

2018

▶ 「子育て期をスキルアップ期にする事業」で社会福祉振興助成事業 (WAM助成) 採択。年間48回イベントを開催、子連れて働く場の提供、スタッフのスキルアップ研修なども実施。

5月 インスタグラム開設

2019

3月 あべのキューズモール 「ママスマイルプロジェクト」企画・運営を受託。

3月 「まちFUNまつり in あべの」を NPO法人ママふぁん関西様と協働開催 (協力:あべのキューズモール)



05

ちょっと聞いて〜!

A. 出産してから阿倍野に越してきてママ友もおらず、そんなとき見かけたままちっちの紙面から、このコミュニティに参加してみたいなと思いました。子育てについて話せるママたちと知り合えてよかったです(ごまめ)



2005

7月 **始動**  
みなくろハウスにて創刊号に向けた第1回目の説明会を開催。

9月 **メールマガジン配信開始**  
近隣の子育て関連イベントの情報やおさがりゆずります・ゆずって情報などを毎週土曜日に配信。

10月 **記念すべきままちっち創刊号発行**  
3,000部からのスタート。最初は2か月に1度、年6回の発行でした!



10月 阿倍野区子育て支援連絡会に参加

2006

頃 自分たちがあったらいいな、というイベントを随時開催

2009

3月 **ホームページ開設**  
スタッフブログやバックナンバー、配布(設置)場所を公開。



今も見られます!

4月 どっぷり昭和町 初参加

6月 第1回おさがりサイクル開催 @阿倍野区役所



11月 半年間の休刊を経て、リニューアル創刊

2010

11月 紙面リニューアルを記念して「1dayままちっち親子カフェ」を開催。



ちょっと聞いて〜!

A. わが子を愛せず悩み、限界を感じたとき、数年間愛読中のおもしろそうな人が集まる活動に参加しました。すてきすぎる人ばかりで。すぐ距離を置いたけど、声をかけてくれた方のおかげで、今では大切な拠り所♡(縁彩)

04



「子育て情報ままちっち」は、2025年2月現在93号まで発行しています。これまでさまざまな企画やコーナーがあり、そのときどきのスタッフや読者の声を反映して制作してきました。その中から「こんな企画あったなあ〜」「あの連載おもしろかった!」をいくつかピックアップしてご紹介します。

### パパ連載

ままちっちには、これまで「パパ特集」をはじめ「突撃となりのパパ」など歴代いろんなパパが登場。そのなかでも育休中のパパの連載は数回あり、今も育休経験パパの連載中です。

No.7~12 (2006.11.10号~2007.9.15号)の6回連載

#### 「子育てエッセイ〜ちっちxbaby」

ままちっち初めてのパパ連載。7カ月間の育児休暇を取ったパパの育休中〜仕事復帰までの1年間の記録です。約20年前の当時はパパの育休が今よりめずらしく、記事の中にも取得の難しさや取るための工夫が。あの頃よりは男性の育休取得のハードルは下がったかもしれないけれどパパが子育てすることの苦労や、仕事復帰してからの育児の分担、サポートについての話などは、今も変わらぬ悩みだと実感。



No.44~48 (2013.7.15号~2014.3.15号)の5回連載

#### 「なおくんパパの育休日記」

2年半にわたり育児休暇を取り2人のお子さんを育てた「なおくんパパ」。まわりから「すごいね」と言われることに疑問を感じながらつづってくれました。その内容は「まさにママ」。離乳食を食べないことに悩み、寝かしつけがうまくいかずイライラ、公園デビューに緊張したり。「思うようにいなくて泣きたくなる瞬間がある」という言葉には多くのママが共感しました。それでも育休が終わる最終回には「またない名誉ある仕事をさせてもらった」と言い切るなおくんパパの等身大の姿はとってもしてきてました!



- 2019
  - 4月 大阪市子育て支援拠点事業を受託「ふらっとひろば ままちっち」開設
  - 11月 「あべの親子防災部」をNPO法人ミラクルウィッシュ様と発足。
  - 12月 大阪NPOセンター「CSOアワード」にて「ホープ賞」「大阪市長賞」を受賞
- 2020
  - 1月 「ならいごと手帖」創刊 2号まで発行(コロナ禍により発行終了)
  - 8月 「子ども記者プロジェクト」を大阪商工信用金庫様、NPO法人ミラクルウィッシュ様と協働開催
  - 10月 子育て情報ままちっち15周年記念号(76号)を発行
  - 11月 「てんでんマルシェ」開催(協力:文の里商店街)NPO法人ミラクルウィッシュ様、ココスキ様と協働開催
- 2021
  - 4月 大阪市子育て支援拠点事業を受託「ままちっちひろば 西田辺」開設
  - 11月 あべのキューズモールに子育てひろば「こそだてらす」開設
- 2022
  - 4月 寄付型チャリティショップ「おさがりままちっち」オープン
  - 12月 ようこそ絵本の音楽会へ〜0歳からのクリスマスコンサート〜 初開催
- 2024
  - 3月 学習塾「ネクストスクール阿倍野王子校」開校
- 2025
  - 2月 「まち絵本 とことこおおさか」出版



07 ちよっと聞いて〜! A. 人手不足で休刊していたままちっち、人が増えれば復活するかもという噂を聞いて、「配布くらいならできるかも…」と勇気を出して申し込んでみました。そしたら次の号ではもう、娘を連れて「いってみせ」取材に行っていました^^(AJ)

ちよっと聞いて〜! A. 病院の待合室でままちっちのスタッフにナンパされ、愛読者だったので即OK!(昔の女)

# 特集

No.31 (2011.5.15号) 特集

## 「東日本大震災から2か月 阿倍野で子育て中の私たちができること・学ぶべきこと」

東日本大震災は、遠く離れた私たちにとってもショッキングなできごとで、スタッフで何度も話をしました。

「子育てをしている自分たちが今被災地にできることは何か」「もしも自分たちの地域でもおこったらどうする?」「こんなときにお店の紹介とか楽しそうな記事でもいいの?」「放射能について勉強しようチーム」の発足などなど…。

その後おさがり品の売上げの寄付や大阪に避難している親子への支援、自分たちの防災への備えの勉強会などを今も続けています。

当時スタッフ間でもいろんな意見があり話し合いは紛糾しましたが、「どの意見も間違いではない」「それを前提に遠慮なく誰でも自分の意見を言うことができる」という議論の積み重ねは、今のままちっこの根底になっていると思っています。



### 病院特集

毎年秋～冬の時期の定番は「病院特集」。読者から近隣の小児科・耳鼻科・皮膚科のクチコミを集め紹介する人気の特集。SNSやGoogleフォームがない時代(!)だったので、公園にいるママたちに声をかけてアンケートを集めたりしていました。(子連れだったけど怪しいと思われてたかも)

クチコミが集まるとままちっこの本紙とクチコミを医院に持参し、説明と掲載許可をもらいに。ままちっこの知名度が皆無のころは、営業と間違われ断られることも(みんな子連れだったんだけどなあ)。今では何度も紹介させてもらっている医院は「あ～ままちっこのさんね～」という感じです(笑)。

なかには「先生は見た目は怖いけど本当は優しい」「いつも空いているのでスムーズ」といった微妙なクチコミを、笑って許可くださるようになってきているところも。たくさんの方に設置も協力いただいています。

今はネットでいろんな情報を得ることもできますが、やはり同じ地域で子育てをしている仲間からの「活きた情報」は貴重だと考え、特集を続けています。

ほかにも病気やケガの体験談、受診のコツやアイデア、夜間休日の窓口の案内なども。

### 幼稚園・保育園特集

読者からのニーズが多い特集。幼稚園各園のクチコミを在園児ママや園の協力で掲載。

近年は制度もめまぐるしく変わり、そのつどスタッフで情報を集め分かりやすく伝える努力を。20年前は幼稚園の情報が中心でしたが、ほとんどの園がこども園に。ママも働き続けることがスタンダードになりつつある今、求められる情報の変化に対応できるように今日も情報収集!



# コラム

No.13~18 (2007.11.10号~2008.9.15号)の6回連載

## 「お産エッセイ 助産院で産んでみる」

ままちっこスタッフ(代表:林)みずからが助産院で2人目を出産するまでを1年間連載。

きっかけや助産院選び、途中の苦難や産んだ後までを、読者とともにスタッフも一緒に見守るような気持ちの1年間。「赤ちゃんを家族でどう迎えたいか」を考えることは、子どものかかわりの第一歩であることに気づかされる。無事に生まれた記事を見たときほっとしてくれた読者も多かったのでは。今ではその子も17歳!



No.20~23 (2009.1.15号~2009.7.15号)の4回連載

## 「子育てときどきブルー」

3人育児のママが産後うつ、ホルモンの乱れによるしんどさを正直に書いてくれた連載。

周囲からのなにげない言葉に傷つき、パパにあたり、子どもに優しくできない自分を責める…。

差はあれど、同じような経験をしたママは多いはず。どのように乗り越えたか、気持ちの変化や周囲のサポート、相談先の案内なども。ちょうどそのとき悩んでいた誰かに届いていたらいいな。

### (隠れた人気)ちょっと聞いて

紙面の下に載っているひとこと。「わが家の手抜きメニュー」「買ってよかった育児グッズ」「パパにひとこと申したい」など、毎号のテーマをスタッフや読者の協力で集めて掲載。まずはここから読む!という読者もいるほど、意外と(?)人気のコーナー。

No.52~55 (2014.11.15号~2015.5.15号)の4回連載

## 「マジメなはなし」

52号「予防接種」・53号「おやつ選び」・54号「東日本大震災以降の暮らしについて」・「大阪都構想住民投票」・55号「子どもと砂糖」など、気にしている人、平気な人、考えたこともない人、スタッフ間で話しても考え方はそれぞれ。自分はそのままでいいんだ、というスタンスを持つためには、まずは知ること!

自分と違った考え方も知りたいけど、なかなか話す機会がない、というスタッフの意見から生まれた企画。ままちっこの自由な意見が飛び交う企画でした。



### 行って店

近隣の子連れで行けるお店の紹介。編集会議で「こんなお店できてた」「ここめっちゃ良かった」などスタッフのクチコミをもとに取材店を決定。スタッフの情報網とアンテナの感度がすごい!今ではひろば利用者から新しい情報をもらうことも。またときおり、お店の方から子連れのお客さんに対する悩みなどを聞くこともあり、子連れで利用する際のマナーなども掲載。



### 3 寄付型チャリティショップ 「おさがりままちっち」

寄付された子ども服のおさがりを低価格で販売し、運営費を差し引いた売り上げを子育て支援団体に寄付するチャリティショップです。(2022年～)



9,954  
点

循環した総点数

### 5 各種イベントの企画・運営

#### 0歳から参加できるコンサート

2022年に第1回目となる「絵本の音楽会」を開催し、その後年に1度開催。チケットは、1回目230枚、2回目560枚、3回目580枚(いずれも完売)と、合計1,370枚を販売しました。



1,370  
枚

チケット販売枚数

#### あべの親子防災部

乳幼児親子を対象とした防災啓発活動。ポリ袋クッキングやトイレの凝固剤体験など、さまざまなワークショップを地域のイベントなどで開催。

※特定非営利活動法人ミラクルウィッシュ様との共同プロジェクト。



### 4 まち絵本プロジェクト

まちとつながりながら子育てを応援する活動をしてきたままちっちだからこそ、「まち」をテーマにした絵本を作るプロジェクトです。クラウドファンディングにも挑戦し、2025年2月に「まち絵本 とことこおさか」を出版。楽しみながら大阪のまちの魅力を学ぶことができます。



ママ・パパの「あったらいいな」を企画・運営。

#### 子ども記者プロジェクト

小学4年生～6年生が子ども記者として取材活動をし、新聞を作るプロジェクト。  
開催実績 2020年2回、2021年2回、2022年3回、2023年3回、2024年1回、計11回開催。



93  
人

のべ参加者数

#### ネクストスクール 阿倍野王子校

オンライン学習システムとプリント教材を併用し、一人ひとりの学びに寄り添う学習塾です。(2024年～)

#### 仕事の受託・協働

ままちっちスタッフのスキルを活かしてさまざまな仕事を受託しています。  
実績例: デザイン制作・アンケート入力業務・企業座談会など

## ままちっちの 現在地

ままちっちが現在行っている活動や事業をさまざまな数字とともにご紹介します。  
※データは2025年1月末現在。

### 1 子育て情報の発信

#### 子育て情報「ままちっち」の発行

阿倍野区・東住吉区周辺の子育て情報を発信するフリーペーパー。年に2回募集するモニターさんと一緒に作っています。



・発行部数/6,000部 12ページ建  
・発行回数/年4回  
・配布場所/約170か所  
(阿倍野区・東住吉区・その他地区)

93号  
408,000  
部

のべ発行部数

#### 子育て情報ポータルサイト 「codomoto.jp」



子育て中のママによる子育てポータルサイトを運営。阿倍野区周辺の子育て情報を掲載しています。

#### 各種SNS



計4アカウント  
6,515人

総フォロワー数

#### LINE公式 アカウント

1,052人

フォロワー数

### 2 子育てひろばの運営

乳幼児親子が遊べるひろばを3か所運営。情報提供や交流の場として、また子育てについて相談できる窓口としての役割も。

#### ふらっとひろば ままちっち (昭和町) (2019年～)



※大阪市地域子育て支援拠点事業

#### ままちっちひろば西田辺 (西田辺) (2021年～)



#### まちとみんなとこどもひろば こそだてらす (2021年～)



※あべのキューズモール協働事業

66,898  
人

(2025年1月末現在)

のべ利用者数

イベント  
関連

- 子どもイベント・スポーツイベント
- うたのおにいさんと呼んでコンサート
- 赤ちゃんお神輿
- 阿倍野で防災キャンプ
- 知育リトミック
- お泊まり会
- 春夏秋冬の遊び
- プレーパークを作る
- 農地手伝い・自然体験
- 畑・遠足・ハイキング・ピクニック・潮干狩り・みかん狩り

スタッフを  
したいこと

- トウクトウ購入
- ままっちビル  
(1階本屋さん・2階ひろば・3階イベントスペース・4/5階事務所・屋上BBQスペース)
- スタッフの大人の遠足
- 上沼恵美子さん呼びたい
- ままっち吹奏楽部
- 英会話講座
- 地域に住んでる海外の方との交流

おさがり  
ままっち

- 24時間無人販売のおさがりままっち
- ちびっこハンドメイド部
- おさがりままっちおもちゃバージョン
- 新学期応援プレゼント  
(ハンドメイドの給食袋)
- 子どもの洋服を作りたい

食関連

- 楽ごはんつくろ!
- 自然栽培八百屋
- ハーブ商品化活用
- チャリンコスルーのご飯・パン屋
- 子ども向け食育
- 大量にご飯を作ってみんなで食べる会
- 無添加食品販売(開発)
- 土日祝も給食ほしい
- 安心な離乳食・幼児食
- 離乳食カフェ

子どもたちも  
書いてくれました!



「おやつばあてい したい」

「おとまり会ができたらいいな」

子育てが終わりつつあるスタッフの間では、「ままっち」ならぬ「ばばじいじ」を創刊する日が来るかもしれないなあという話が冗談まじりに出ていますが、10年後にはありえるかも!?

園情報ならぬ、おすすめのデイサービス特集、小児科ではなく整骨院の病院クチコミ、介護リフォーム体験、などなど(笑)。ニーズ、あるでしょうか??



# ままっちのこれから

## 妄想☆ノート

これまでのすべての活動は、誰かの「あったらいいな」からはじまっています。まずはそのアイデアや妄想(笑)をみんなと共有し、共感する人がいて、一緒にやる!という人が数人集まれば、動き出します。22年・23年に、スタッフに聞いたアイデア・妄想をご紹介します! この中から、今後のままっちで実現することがうまれるかもしれません。

### 22年忘年会・23年スタッフ交流会で聞きました 「ままっちでどんなこと、したいですか?」

ままっちの  
方向性

- ゆるくつながる!
- 教育+地域への情報発信
- 力抜いて子育てしよ!を伝えたい
- パパも巻き込みたい

小学生~の  
ママ向け

- 子どもが大きくなってからの悩みを相談したい
- 子どもが大きくなってからのママ友作り・話を聞く機会づくり
- 専門家の先生のお話を聞く・質問する会
- 不登校・グレーゾーンの子の楽しめる場
- 大きい子ども(小学生~)向けの情報発信
- ままっち(乳幼児)とあべのって学生部(中高大)の間を補完する役割
- おばあちゃん家みたいな、家とは違う安心できるこ
- 子ども同士が集まれる場所
- 放課後の居場所
- 駄菓子屋
- 子どもがお店をする・子ども本屋さん・子ども図書館

乳幼児  
ママパパ  
向け

- 夕方に子連れで行ける場所が欲しい
- 長期休みに上の子と一緒に遊べる場所が欲しい
- 託児(買い物の間だけとかほしかった)
- 産後ママの1wのご飯や家事をする
- 阿倍野のお店をめぐるままっちツアー
- 読者も交えたオフ会
- ちょっと先輩ママにいろいろ聞く会
- 性教育の啓発活動

ちょっと聞いて~!

A. ままっちとの出会いは大阪市の助産師訪問で受け取ったのが最初。関東から関西に住み始め、誰にも頼れずに出産。帝王切開で傷口が痛引きこもっていたときにままっちが救いに。熱烈的なファンとなりスタッフに(ピッコロ)

ちょっと聞いて~!

A. ひろばのヘビーユーザーでした。子どもが成長し余裕ができて、当時の私のように育児に悩むパパママの手助けをしたいと思いました。先輩スタッフに励まされつつ、利用者さんの笑顔にやりがいを感じています(のっちゃん)

創刊～93号

# ままちっち 表紙コレクション

創刊からこれまで、ままちっちの表紙イラストを描いてくださった方は、9人！スタッフもいれば、一般公募の方も。ボランティアにも関わらず、ここ数年は、募集をするにたくさんの方から応募が届くようになりました。

88号から93号のイラストを担当してくれた「こなつぐ」さんからは、ままちっちの表紙イラストを担当したことがきっかけとなり、イラストの仕事につながったという嬉しい報告をいただきました！

子育てしながら自分の得意を生かす、そんな機会づくりができていたならうれしいです。



13号  
～  
17号



7号  
～  
12号



創刊  
～  
1周年  
記念号



55号  
～  
66号



28号  
～  
54号



18号  
～  
27号



86号  
～  
93号



76号  
～  
85号



67号  
～  
75号